

地震・津波被害想定の実施

1. 趣旨

昨年8月に公表された国の南海トラフ巨大地震の被害想定結果や県独自の津波浸水シミュレーション結果を基に被害想定を実施する。

〔国の想定との比較〕

項目	国	県
震度	市町別最大震度	県内全域の震度分布図
被害量	都府県単位の集計	市町単位の集計
使用データ	非公表	固定資産台帳等独自データを収集のうえ使用
津波被害	H24.8 公表津波シミュレーション結果を使用	県独自津波シミュレーション結果を使用
減災効果	・耐震化率100%等一律決定 ・津波は避難対策の効果のみ算定	・施策目標を設定して効果を算出 ・越流対策や門扉の閉鎖による効果も推計

2. 想定項目(案)

区分	H21～H22 地震被害想定	H25 地震・津波被害想定
対象	海溝型地震と内陸型地震の65地震 ・海溝型地震(3地震) ・内陸型地震(62地震)	南海トラフ巨大地震
項目	地震動予測結果 ・震度分布、液状化危険度分布	同左
	物的被害の想定 ・建物被害(揺れ、土砂災害、火災) ・交通被害(道路、鉄道、港湾、空港) ・ライフライン被害(上下水道、電気、ガス、通信) ・その他の施設被害(危険物施設、避難所、病院、福祉施設、警察施設、消防施設、河川堤防等) ・震災廃棄物発生量	<u>地震動に加えて、津波による被害についても同じ項目について実施</u>
	人的被害の想定 ・建物倒壊による人的被害 ・土砂災害による人的被害 ・火災による人的被害 ・交通施設被害による人的被害 ・孤立可能性集落 ・避難者、避難所生活者、要援護者数 ・帰宅困難者 ・物資不足量	
	経済被害の想定 ・直接被害(建物被害額、家財被害額) ・間接被害(資本喪失等による生産低下額)	
		減災効果の推計 建物倒壊(耐震化率向上)、津波(越流対策、門扉閉鎖、早期避難等)等に基づき死者数、避難者数、建物被害を推計